

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

■下■

小説「挽歌」を世に

952(昭和27)年に「北海道文学」を創刊。戦後釧路で大きな功績を残した。大臣賞、北海道文化奨

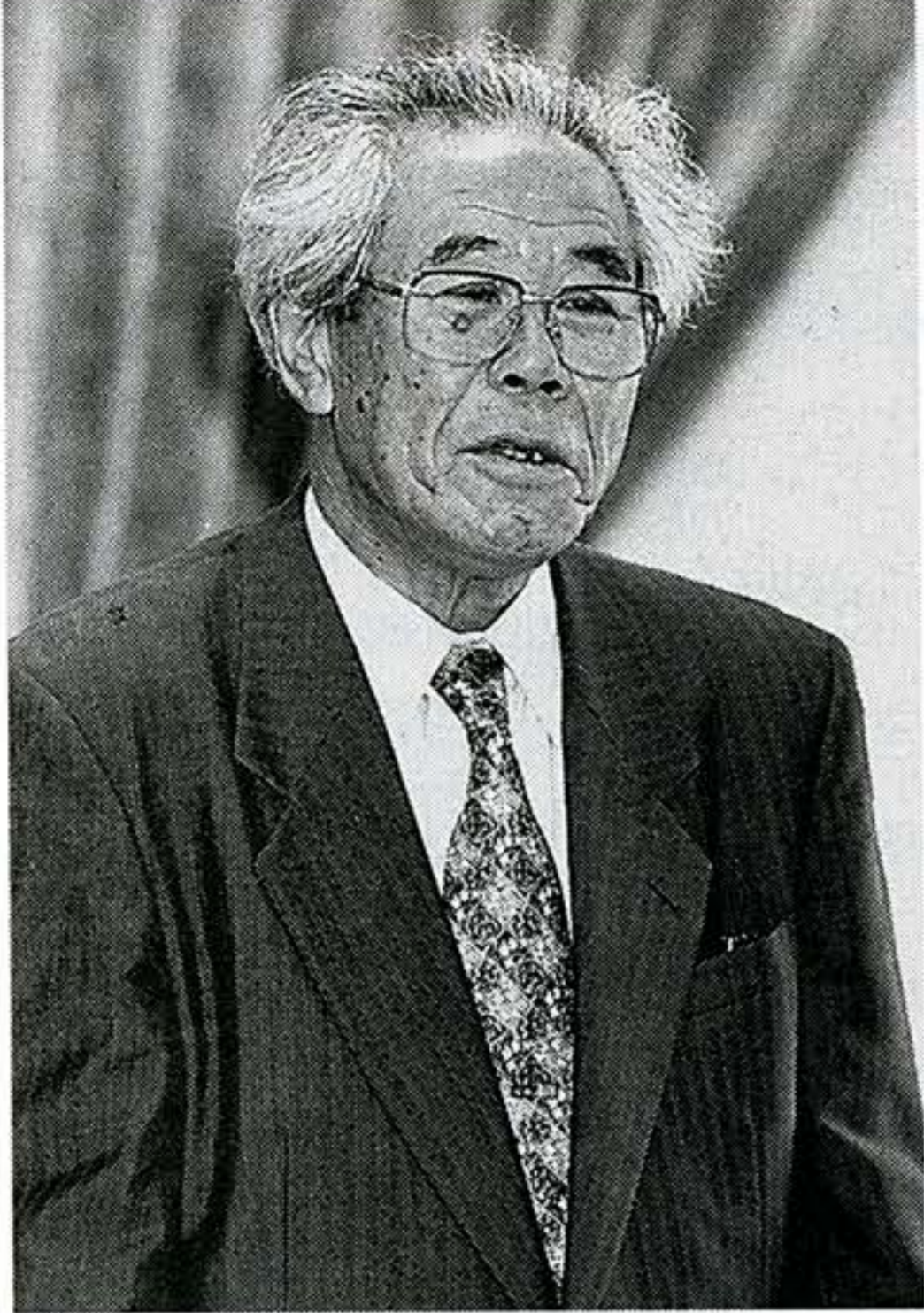
鳥居さんは、釧路の文学活動のリーダーとして活躍し、同誌の編集者として連載、原田康子さんの小説「挽歌」を世に送り出したほか、数

特別功労賞

文学

故・鳥居

省三氏



在りし日の鳥居省三氏

釧路叢書の「釧路文学運動史」、釧路新書の「石川啄木」、評論集「異端の系譜」など著作も多い。

「北海文学」を主宰

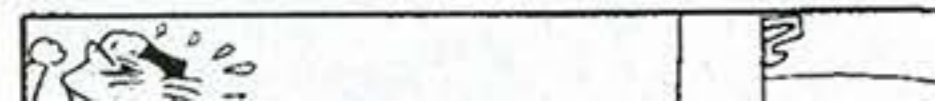
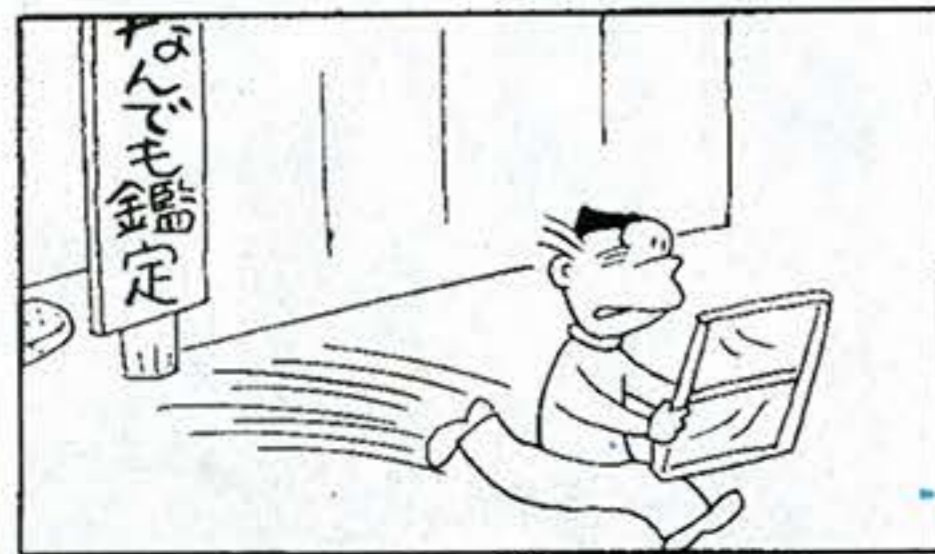
釧路の文学活動をけん引

初の特功賞 1925年紋別市生まれ、1925年紋別市生まれ、重(し)け吉事(よ)ご足跡と、同財団への貢献

故・鳥居省三(本名・良四郎)氏(1925-2006) 2006年5月4日没・享年80歳 (山本繁寿)

愛和社

アッパシヨ 木崎征夫



れ、国鉄職員を経て、51と」を掲載した。

をたたえて顕彰される。

年釧路市に奉職。市立図書館長を務めたほか、市教委文化部長なども歴任した。退職後は釧路短大教授、03年名誉教授に。

英子夫人(80)は「仏前本人は好きなことをやってきただけだと思いますが、一人の力で50年も続

00年(平成12年)2月4年間務めた。今回の特

返っている。